

大ニユス

版 コ ス ネ シ

道新 10/10
高新 10/17
新愛媛 10/20
甲口新 10/33

暗黒道新文代賞 - 札幌 - 117頁 (本編トフハ進出)
本編同V

No. 357

35.11.17

志水から島 - 島根縣益田 - 130頁 (本編トフハ進出)

一、ねばりの早大優勝

— 東京

波乱万丈。六度び決戦にまで持ち込んだ秋の東京六大学野球早慶両校による優勝決定戦。戦後六大学野球が復活して以来、神宮の森に初の徹夜組まで操り出し、入場者はのべ三十五万とこのところ低調の学生野球を一べんに吹きとばす盛況をみせました。

試合はもつれにもつれ早慶戦で優勝は決まらずついに優勝決定戦、十一月九日の決定戦は一对一の日没引き分け、つづく十一日の両試合も〇対〇の日没引き分け、そして三度び早慶両校相まみえること六度び、早大は慶大の先発角谷をばげしくゆきぶる先制攻撃。守つては四連投という驚異のはなれわざをみせた鉄腕安藤が、はやる強打の慶大打線を押え、ついに早大は三シーズンぶりに通算二十回目の優勝をかきり数々の話題を巻き起した熱戦の幕を閉じたのです。

一、外交に新しい波

— アメリカ・東京

全世界の注目を集めたアメリカ大統領選挙は、弱冠四十三才民主党ケネディ氏の勝利となりました。フルシチョフに押しまくられるアイク政権へはぎしりをして来たアメリカ国民は若きケネディに希望を託したものとみられ、スーペルバグの出現によつて国際政治も新しい場面を迎えることになりました。このケネディの勝利にあやかつてか、総選挙中の日本でも三党首がテレビ討論会を開き外交政策で大論争をくりひろげました。さてこちらはずれに軍配があることでしょうか、総選挙の審判が下されようとしています。

日本の群像

— 東京

東京を中心にして起つた病院ストは全国的にひろまり、政治問題にまで発展しようとしています。その大きな原因は、看護婦さんとその他従業員の低賃金です。その職場は「博愛と奉仕」で貫かれ、献身そのもの、そして民間病院では老後の保証もありません。

寮はドアの閉閉も満足に出来ず、仕事は重労働です。一つの手術に三時間も立ち続けて緊張の連続。この為、一般の平均寿命より十年近くも短かいときえ言われています。

これでは、看護婦の本分を果すことは出来ない、一円円の最低保障とベース・アップを要求。しかし、経営者側は現在の医療制度の下ではとても困難と回答しました。それで十四日には第三波の実力行使。いわば看護婦さんの人間宣言です。根本的な治療と予防措置が構じられない限り、病院ストは容易に全快しそうありません。

657頁

262頁

184頁

213頁